

あわさる

2016

正月号

VOL.145

浄土宗西山深草派宗務所

総本山 誓願寺

謹賀新年

◆ 目次 ◆

- 新春を迎えて
 - 賢問子行状記 ⑮
 - 迷子みちしるべ参
 - お釈迦さまの十大弟子 ⑤
 - インド **ド** **タ** **バ** 夫婦道中記 ⑳
 - 総本山誓願寺だより
 - 何でも お寺探偵団 Vol. 43
- 清光山 永琳寺 玉泉院

◆ 総本山誓願寺蔵 十三仏図 ◆





新春を迎えて

浄土宗西山深草派管長
総本山誓願寺 法主

井ノ口 泰淳

謹賀新年

新年 明けましておめでとうございませう。皆さま方にはご機嫌よろしく新年をお迎えのことと衷心よりお慶び申し上げます。私も何分老齡の身ではありませんが、日々生かせていただき有り難いことと感謝して居ります。

申すまでもなく総本山誓願寺は、千三百五十年の歴史を持つ「庶民の念佛道場」であります。僧侶はもちろん檀信徒の皆さまがこの誓願寺道場でお念佛を申し、法然上人の教えを実践してきたのです。

仏教には八万四千のたくさんのお教えがあります。法然上人はそのたくさんのお

えの中から、誰でも何処でも簡単に実践できるお念佛の教えをお示しく下さいました。「ただ一向に念佛」することです。

お念佛を申すことで、私たちの心は、初心に戻ることができます。初めて阿弥陀さまに手を合わせた時の、有り難い気持ちに戻ることができるのです。

毎日の生活の中でいろいろなご苦労があるかと存じますが、お念佛の教えを信じて気持ちを新たに、今年一年が良い年であることを心から念願致して居ります。

平成二十八年 元旦

総本山誓願寺 第百貳世

彰空 泰淳 謹識

賢問子行状記

15

総本山誓願寺執事

小島英裕

第十話

「和泉式部、一人娘との別れ」

一条天皇のお后、上東門院に仕えていた和泉式部は、歌人として優れた才能を持ち、皇后の待遇は特別なものでした。名前は広く世に知られていましたが、三十七歳まで仏教には縁遠いところがありません。和泉式部には同じく皇后に仕えていた小式部内侍という十六歳で花盛りの娘がいました。母に劣らない歌人であり、母の深い愛情に包まれていました。ところが世の無常の習い、小式部は十六歳の春、重い病に掛かりました。式部は良薬を求めて看病し、延命祈禱を百回行いましたが甲斐がありません。式部は病床を離れず、

「二人で皇后さまに奉公したのは、我が子の出世を思つてのこと。気をしつかり持つて病気を治して母を喜ばせておくれ。小式部！」

と励ましました。小式部は次第に弱くなる声を出し、

「私の体は今日限り。冥途の道をただ一人、母を残して行く不孝をどうかお許しください」

と死に際に歌を詠みました。

いかにせん 往くべき方も をもほえず 親に先立つ 道をしらねば

式部は、優しい心のこもった歌に嬉しく思い、返歌を詠みました。

小足にて たどり往くらん 死出の山 道知れぬとて 帰りこよかし

春の雪が消えていくように小式部は亡くなりました。式部は亡骸に取り付

き、

「もう逝ってしまったの？これ小式部よ！母を残して逝ってしまうなんて」

と声を挙げました。いつまでも嘆いても仕方ありません。亡骸を土葬し、式部が日頃大切にしていた鉢植えの梅の木を墓の印に植えました。墓の前に倒れ込んだ式部は帰り際に一首を詠みました。

梅が枝は 春を忘れず 匂ふらん
主ははかなき 苔の下露

「今まで宮仕えをしてきたのは娘を思つてのこと。もうこの世に望みはない。尼になつて娘の菩提を弔いたい。このままでは自分も救われない。高僧に出会いたい」

と思いましたが。その頃、播州書写山の性空上人こそ法華経を十万部誦誦された高僧でありました。今は山の麓で庵を結んで人々を教化されています。

「道は遠いけれど悟りの境地を尋ねたい」

と親しい仲間を連れて、式部は書写山に出発しました。(つづく)

京都 本山誓願寺

迷子みちるべ 参



加藤良邦宗務総長……平成25年10月、浄土宗西山深草派宗務総長に就任。愛知県碧南市にある妙福寺の第26世住職。日本三体毘沙門の一体であり三河七福神の一体でもある、「志貴毘沙門天」を祀り、毎月三日に執り行われる例祭では、多数の参詣者が訪れる。

毎年、総本山誓願寺で厳修される、法然上人御忌大会ならびに西山忌。その法要で新しく行われる「お練り」について、加藤宗務総長にお話を伺いました。

商店街を袈裟を着けた僧侶が歩く「お練り」をしようと思われたきっかけは何だったのでしょうか？

―自坊である妙福寺では、毎月三日に毘沙門天の例祭を執り行っておりますが、それはお寺だけではなく、商店街や露店といった地域との共生のもと、成り立っております。誓願寺門前の新京極商店街やご用達の方々の協力を仰ぎ、「お練り」をすることで地域との連携をより強くするきっかけとなればと考えました。

「お練り」をすることに對して、どのような思いをお持ちですか？

―私が宗務総長に就任した際に掲げたことの一つに、誓願寺を活気あるお寺にするということがあります。それも「お練り」をするきっかけとなりました。

「お練り」に期待することは何でしょうか？
―地域との共生です。当日だけではなく、それまでの準備も含め、商店街の方々に協力頂くことが不可欠です。また、ご用達の皆

さんにもご協力頂かねばなりません。誓願寺には山水はありませんが、新京極と言う賑わいがあります。その新京極を境内と考えると「お練り」をすることで、誓願寺と新京極の賑わいに繋がればと思っております。また、誓願寺が活気づくことで、用達の方々の活気にも繋がると思われます。「お練り」を通して、誓願寺と新京極、そして用達の方々と協力、共生して行ける関係を深めることができればと思っております。

ところでここ数年、誓願寺を会場とした催しが増えてきていますが、どの様に思われていますか？
―大変良いことだと思えます。それまではあまりお寺に馴染みがなかった、若い参詣の方の姿も見えますし、お寺の活気に繋がると思えます。また、それが新京極の賑わいにもなり、そこから地域との共生に繋がって行くと思っております。

本山納骨のご案内

- 永代納骨(20万円)
・本山納骨堂へ永久に安置致します。
- 須弥壇納骨(10万円)
・本山納骨堂へ20年間安置致します。永代納骨への切替も出来ます。
- 普通納骨(5万円)
・合同で京都深草の真宗院にある納骨堂にお納め致します。永代納骨や須弥壇納骨への変更は出来ません。

※詳細、また納骨をご希望の方は、菩提寺までお問い合わせ下さい。

お釈迦さまの
ご生涯
外伝

お釈迦さまの十大弟子 5

絵・豆田織奈 文・釈尊法話会

すだ ずだぶくろ
頭陀第一の摩訶迦葉 その1

お釈迦さまの十大弟子の三番目は摩訶迦葉です。迦葉という弟子が何人もいらっしやり、その中で一番偉大な方でしたので、「摩訶迦葉、大迦葉」と呼ばれています。



頭陀第一の摩訶迦葉

摩訶迦葉は「頭陀第一」と呼ばれました。お坊さんの持つている「頭陀袋」はここから来ている言葉です。「頭陀行」と言われる修行がありまして、清貧質素を旨として、自分を厳しく律し、欲を離れて修行をすることです。弟子達の中でも、特に自分に厳しく、常に頭陀行をしたそうです。インド各地に遊行し、お釈

迦さまの教えを地道に伝えたそうです。

お釈迦さまは、舍利弗、目連という二大弟子が居たにも関わらず、仏教教団の後継者として摩訶迦葉を指名されました。

もつとも、神通力で舍利弗、目連が自分より先に亡くなることを知っておられたからでしょう。自分亡き後の教団を纏められるのは、摩訶迦葉しかいないと考えられ、自分のお袈裟を託したそうです。

摩訶迦葉は後継者としてお釈迦さまの亡き後、仏教教団を纏め、「三蔵(経・律・論)」の整備をし、弟子達にお釈迦さまの教えが誤って伝わっていないかを確認しました。現在我々が、お釈迦さまの教えに触れることができるのは、摩訶迦葉のお陰であると言っても過言ではありません。(つづく)



インド **ドタバタ** 夫婦道中記 39

東龍寺 住職 岩瀬 賢良

悪い人ばかりではない

読経を終え、柵の外で待つていた現地の青年とその友人に案内され伝説の箇所を説明してもらった後、青年の土産物屋に戻った。僕たちはこの後スジャータの村に行く旨を伝えたら、友人とバイク二台で乗せて行ってくれることになり、窮屈ではあるが三人乗りで対岸の村に向かった。八十九年に来た時には仲間五人、乾季で水のない、川幅が三〇メートル程あるネーランジャラー川を、砂にゴム草履を取られ、まとり付く物売りを振り切りながら、汗だくで対岸に辿り着いたのを思い出した。

機会に期待したいところで、村の一角には小さなヒンドゥー教寺院の敷地の隅に、村長の娘スジャータがゴータマ・シッダールタに乳粥を供養する像の祠がある。以前にはそんな祠はなかったはずなので、その後、奇特な人が造ったのだろう。僕たちは暫くの間、農作業をする風景と空気を味わってから、再び土産物屋に戻り、お土産にと菩提樹の葉や、利子用のパンジャビドレスを買い、次の目的地への準備をした。

僕たちはラジギールに行くのにタクシーをチャーターする予定だったが、友達の車で送らせると言ってくれ、その厚意に甘えることにしたのである。だが送ってもらうのはちよつとそこまで、という距離ではなく、ブツダガヤから北東に約一二〇キロメートルもあるの、僕たちはそれ相応のお礼をするつもりでいた。ラジギールに着いてからも、

安ホテルを探すのに三軒ほど回ってくれ、彼にお礼のお金を渡そうとしたら、彼は断るのだった。受け取ってくれるように再三言ったのだが、かたくなに断られ、結局僕たちはお礼の言葉を贈るだけで彼を見送ったのである。今回縁のあった青年たちはハイカーストで、他人に施しはしても、施される側でないプライドのある身分なのだと思った。

その日の宿泊施設は、隣がタイ寺で、タイの仏教信者が泊まるブディスト・ゲストハウスで、きれいとは言えないが安くて気楽な宿だと思った。だが夜遅くになって、思わぬ事態となるのだった。



お釈迦さまに村の娘スジャータが乳粥を勧める象のほこら

総本山誓願寺だより

和泉式部ゆかりの
新京極 誓願寺

平成二十八年二月三日(水)

節分会

大般若転読会

午前十時～十二時
午後二時～二時半
午後三時半～四時半
※芸道上達・心願成就・
無病息災など、皆さまの
お願い事を仏さまに祈願
いたします。



日本舞踊・長唄奉納

午後一時半～

- 一、元禄花見踊
- 二、扇尽くし
- 三、花の誓願寺

出演 桜富寿佐、桜流門弟

豆まき

午後二時半～

扇塚法要

※古くなった扇の供養をいたします。

おもな行事予定

一月

一日(祝金)

修正会

十五日(金)

六阿弥陀功德日

二十四(日)

法然上人追慕念仏行脚

二月

三日(水)

節分会

八日(月)

六阿弥陀功德日

十五日(月)

涅槃会

三月

十四日(月)

善導忌

六阿弥陀功德日

十八日(金)～二十四日(木)

春彼岸

二十五日(金)～四月四日(月)

法脈相承

クイズコーナー

【問題】

書写山にいた高僧のお名前をお答え下さい。

〇〇上人

官製はがきに、答え、郵便番号、住所、氏名、電話番号、菩提寺(だんな寺)、感想や質問を必ず書いてご応募下さい。その中より紙面に採用させて頂くことがあります。掲載時には、はがきにてご本人にご連絡差し上げます。名前の掲載が困る方は、その時にご返事下さい。今回は、玉泉院さまより仏足跡足腰守とお線香セツトを5名さま、本山謹製線香を5名さま、合計10名さまに抽選して差し上げます。ご応募お待ちしております。

【宛先】〒四四四-1031 四

愛知県西尾市下矢田町郷二

養寿寺内 ちかい編集係

【締切】一月三十一日

(消印有効)

答え ○○○○
郵便番号
住所
氏名
電話番号
菩提寺(だんな寺)
感想・質問等

ちかい 第145号

発行日 平成二十七年十二月五日
発行所 浄土宗西山深草派
総本山誓願寺

京都市中京区新京極桜之町四五三番地
電話 (075) 221-0958
FAX (075) 221-2019
E-mail info@fukakusa.or.jp
URL http://www.fukakusa.or.jp

何でも

お寺探偵団

ぎょくせんいん 玉泉院

Vol.43




今回は清光山 永琳寺 玉泉院を訪ねました。

profile

新美和彦師
 (玉泉院 第25世)
 昭和21年生まれ 69歳
 昭和58年住職拝命。平成19年まで愛知県立蒲郡高等学校の教員を勤める。平成19年より25年まで当派教学部長。現在宗学院教授、布教講習所所長。平成22年より人権擁護委員に就任。

Q1

お寺の由来を教えてください。

当寺は本寺である安楽寺の塔頭寺院で、安楽寺第3世邦

Q2

お寺の魅力は？

全永琳上人が文明5年(1473)に創立されたお寺です。爾来、寺門栄えて500年余り、法灯を連綿と受け継ぎ今日まで至っています。

お寺の庭には多くの石像や灯籠が安置されており、その多くが岡崎石像美術の父と呼ばれた池上年師の造られたものです。昭和16年、先代住職、満空悦道上人が山門に一对の灯籠を師に造って頂いたのを機に懇意になり、その後も多宝塔や仏足跡などを造って頂いた他、模倣ではありませんが弁慶のお墓もあります。中でも本堂前に設置してある灯籠は、火袋か

Q3

お坊さんとしての心がけは何ですか？

ら堂内を覗くとご本尊の阿弥陀さまが見えるようになっていきます。

Q4

好きな言葉は？

僧侶として、誠実に檀信徒の「安心決定」を願って法務することです。

Q5

「ちわい」の読者へ一言

感銘を受けた言葉として、浅田次郎氏の「苦勞を積み重ねるものではなく、日々の幸福を積み重ねることこそが真の人生経験なのである」です。

Q6

「ちわい」の読者に何か頂けますか？

仏教に親しんで下さい。その為にはお寺へ足を運びくださって、お説教を聞いたり、僧侶と会話をして下さい。

仏足跡足腰守とお線香をセットで5名に差し上げます。

【交通】
 [電車] JR蒲郡駅下車 北へ約3km
 [自動車] 東名高速道路「音羽蒲郡インター」よりオレンジロード経由、蒲都市街(南方面)に向かって約2km

【主な行事】

御忌会	1月10日
涅槃会	2月15日
春彼岸会	3月お中日の前日
花まつり	4月中旬
観音さん	7月10日
盆施餓鬼会	8月10日
秋彼岸会	9月お中日の前日
十夜会	10月15日
成道会	12月8日

【お問い合わせ】
 玉泉院
 〒443-0002
 愛知県蒲郡市清田町門前12
 TEL 0533(68)5691



◀ 仏足跡



◀ 山門前灯籠



◀ 弁慶のお墓



◀ 本堂前灯籠



◀ 多宝塔